

補修・補強に関するフォーラム開催

コンクリートメンテナンス協会

建造物の健康寿命延ばしテーマ

コンクリートメンテナンス協会(徳納剛会長)は、「コンクリート構造

物の補修・補強に関するフォーラム2021」をオンライン開催している。22年3月末まで講演動画の配信を行う。現在、26本の動画を配信中。さらに9月30日に4本の動画を追加で公開する予定。視聴は無料で同協会ホームページ(https://www.j-cma.jp/)の講演動画配信ページで公開している。

今年度のフォーラムは、「事例にみるコンクリート建造物の健康寿命の延ばし方」をテーマに設定。補修・補強事例を多く交え、予防保全と事後保全の双方の観点に立ち、経済性を考慮してコンクリート建造物の健康需要を延ばすための維持管理の考え方、最新の調査診断



オンラインで講演する宮川京都大学名誉教授。22年3月末まで講演動画を配信する

技術と適切な維持管理技術を紹介している。

主な講演として、宮川豊章京都大学名誉教授が「コンクリート建造物の健康寿命を確保するため

に」を発表。橋梁など多くの建造物が高齢化を迎えるなか、維持管理や更新に向けた人手、予算が必要になると強調。適切な時期を見極めた上で補

修を行うべきとした。同フォーラムは、土木学会、建設コンサルタンツ協会認定CPDプログラム。各講演は22年3月31日まで配信する。